

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	富良野市	代表者名	鶴飼敏行		
担当者部署	スマートシティ戦略室	連絡先電話番号	0167-39-2305		
担当者役職	主幹	担当者氏名	鶴飼敏行	連絡先E-mail	jiyoho@city.furano.hokkaido.jp
住所	076-8555 北海道富良野市弥生町1番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	本多 康幸
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	昨年・一昨年と開催してきた、RPAを導入している道内自治体間の意見交換・学習の機会を、さらに発展させる取り組みと位置づけて、本年度最後の第5回目を開催した。今回は、RPAに関する基礎知識の再確認、RPAを取り巻く現況、活用事例などについて情報提供をいただいた。その上で、それぞれの自治体の現状の共有と質疑を行う中で、各自治体の課題なども洗い出され、前回同様、大変有意義で活発な情報交換の機会となった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和6年1月13日	支援・助言	有	令和6年1月10日	1144
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年1月12日	支援・助言	15時00分	17時00分	0
				活動時間（分）	120

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	富良野市職員および道内自治体職員	15人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	RPAに関する課題⇒「職員が自前でシナリオ作成するハードル」「導入後の管理」「費用対効果」「職員の負担感軽減に寄与できているか」など	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	RPA導入事例や互いの課題などを自治体間で共有し、それぞれが抱えている課題解決を図る。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	・RPAの活用事例と利用技術についての情報提供 ・参加自治体のRPA導入状況資料共有 ・自治体間の情報共有・課題共有のファシリテート	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	上記課題等の解決に向けた情報交換・共有により、各自治体で抱えている課題についての整理と、他自治体での取り組み方や考え方の共有による課題解決のヒントが得られた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 前回・前々回とアンケートを実施したため、今回は実施しなかった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	RPA導入等をきっかけにDX推進の取り組みを着実に進めたい。	

なお、〈その他〉を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

